

やまがた未来共創宣言

～共に創る、持続可能で明るい山形県の未来～

本県人口は、大正14年以降約100年ぶりに100万人を下回りました。高齢者が多い本県の人口構造を踏まえれば、今後しばらくの間は人口減少が続くものと見込まれます。

こうした中であっても、私たちは、不断の努力と新たなチャレンジを重ねてきたところであり、その結果、実質県内総生産額や名目県内総生産額はともに増加傾向にあるほか、一人当たり県民所得は本県が東北1位となるなど、本県経済は成長を続けています。

このように、人口が減る中でも、若者や女性に選ばれ持続的に発展する地域づくり、県民一人ひとりが幸福を実感できる「ウェルビーイング」の向上が重要であります。そのためには、行政や企業、団体の枠組みを越えて英知を結集して連携していくなど、オール山形で取組みを進めていくことが必要です。

こうした考えのもと、私たち「やまがた未来共創会議」では、本県人口の見通しや課題、各界の取組状況等を共有するとともに、このたび、各団体が実施するアクションを取りまとめたところです。

私たちは、これらのアクションを着実に実行していくとともに、これからの100年を見据え、分野を越えて相互に連携・協働しながら、新たなアクションに挑戦し続け、一丸となって、本県の明るい未来を切り開いていくことを、ここに宣言します。

令和8年2月17日

やまがた未来共創会議